



九州地方で第一号となる体験農園を福岡県に新規オープン

農園アドバイザーは元サラリーマン。孫ターンで大阪から福岡へ移住、野菜作りで地域おこしを



全国 120 カ所の貸し農園を展開し、社会人向けの農業ビジネススクールを運営する株式会社マイファーム（本社：京都府京都市、代表取締役：西辻 一真、以下「マイファーム」）は、福岡県糟屋郡に九州第一号となる『マイファーム Nakabaru 農園』をオープンしました。

現在、地方公共団体・農業協同組合・農業者・民間企業や NPO 等が運営する市民農園の設置数は九州では 221 カ所設置（※）されていますが、市民農園利用希望者に比べて農園が不足している傾向にあります。マイファームは、関東、関西、東海地方での開園から運営までのノウハウを元に、九州地方で第一号となる『マイファーム Nakabaru 農園』を設立しました。同農園には、野菜づくりアドバイザーの指導付き、農具レンタル無料、肥料・休憩小屋・駐車場完備。定期的なイベントの開催を行い、地域の方と一緒に野菜づくりを楽しめるような仕掛け作りを進め、多くの方が「自産自消」を楽しむ社会を目指します。

※平成 27 年 3 月時点。農林水産省公式 HP より ※農園写真はイメージです

■自産自消アドバイザー 塩見 純司

大阪生まれ、大阪育ち。30 歳を前に、福岡県で営農している祖父の跡継ぎ問題に直面。一念発起し家業を継ぐことを決心。家庭菜園どころか、土にすら触れる機会がなかった塩見氏は、農業技術や経営を学ぶため、マイファームが運営する農業ビジネススクール「アグリイノベーション大学校」へ入学。学びに専念するため、7 年間勤務した会社を退職し、平日は八百屋マイファーマーに勤務しながら週末は講義で農業の学びを深めました。卒業後は福岡へ孫ターンで移住。同時期、福岡でのマイファーム体験農園の開園が決定。同大学校受講中に「一人前の跡継ぎを目指しながら、グリーンツーリズムや元気な地域づくりをしたい」と志す塩見氏に農園アドバイザーを打診したところ快諾。塩見氏は「これから農園内でのイベントや仕掛けを企画し、野菜収穫や栽培を通じた元気ある地域コミュニティを作り上げたい」と意気込んでいます。



マイファームは創業以来、自産自消ができる社会づくりを目指しています。「農業にもっと、近づいてもらいたい」そんなシンプルな想いから、マイファームは立ち上がりました。人と農をつなぎ、自産自消の循環の輪を絵がいていく。その輪が、耕作放棄地を少しずつ、再生していきます。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社マイファーム 担当/岩本・平戸まで TEL : 0120-975-257 MAIL : hirato-a@myfarm.co.jp